

案件概要書

2019年12月17日

1. 基本情報

- (1) 国名：ウズベキスタン共和国（以下、「ウズベキスタン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：カラカルパクスタン自治共和国（以下、「カラカルパクスタン」という。）（人口 180 万人）
- (3) 案件名：ヌクス教育病院医療サービス改善計画
(The Project for Improvement of Medical Service at Nukus University Hospital)
- (4) 計画の要約：本計画は、ヌクス教育病院（地域の最高次医療施設であり域内の医療人材育成の拠点）の医療機材及び医学教育関連機材を整備することにより、同地域の保健医療サービス及び医学教育の質の改善を図り、もって同地域住民の健康増進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ウズベキスタンは天然ガスやウラン、レアメタル、レアアース等の天然資源に恵まれており、同国への支援は、我が国の資源エネルギー外交の観点からも戦略的に重要である。また、同国は伝統的に親日的であり、我が国の国連安保理常任理事国入りを一貫して支持するなど、国際場裡において我が国への協力に好意的である。

2015年10月、安倍総理の同国訪問時の共同声明で、同国からは保健医療分野での協力に対する感謝の意を表明するとともに、日本企業による日本製医療機器サービスセンターの設立事業を始めとする同分野における一層の協力の継続に期待を表明しており、本計画を通じて二国間関係の強化に寄与することが期待される。

- (2) 当該国における保健セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

ウズベキスタンでは、疾病構造の変化が進み、現在では全死因の84%を非感染性疾患（Non-Communicable Diseases：以下、NCDs）が占め、NCDsを中心とした保健システムの再構築が求められている。こうした背景から、円借款「医療サービス強化事業」、技術協力プロジェクト「非感染性疾患予防対策プロジェクト」などを通じて全国でNCDs対策の強化に取り組んでいる。

一方、同国北西部に位置するカラカルパクスタンは、綿花向けの過剰灌漑によるアラル海の縮小により環境・地域経済が悪化し、開発が遅れた地域で、貧困率は26.3%と全国平均11.9%より遥かに高い。当地域ではアラル海周辺で汚染された水・土壌・大気による健康への影響も懸念されており、NCDsの罹患率は呼吸器系疾患37%、腎機能障害7.2%と全国平均（各21%、5.6%）より高いほか、母子保健や感染症による死亡率も依然として高い。また、医療機器の不備、医師の数や経験不足が深刻で、より高次の診断・治療のため首都の病院に搬送される患者が年2,000人以上にのぼり、医療機器の整備及び医療サービスの質の改善が喫緊の課題である。

特に、国立タシケント小児医科大学ヌクス分校は、域内唯一の医療教育機関であるが、独自の附属病院はなく、臨床実習の実施が困難な状況である。そこで当国政

府は、同地域の医療サービスの改善及び地域医療を担う医療人材の育成を図るため、同校の附属病院として新たにヌクス教育病院（120床）の建設を進めている。当病院は2019年中にも一部開院予定であるが、同地域の拠点病院及び医学教育拠点としての機能を果たすためには、質の高い医療機材や医学教育関連機材の整備が必要とされている。

ウズベキスタン政府は、大統領令においてカラカルパクスタンの開発を最優先課題に掲げるとともに、質の高い医療サービスを広く提供するための保健システムの改善、保健人材の育成・専門性の強化を図る方針を示しており、本計画は、同国政府が目指す同地域の保健医療体制の改善に不可欠な優先度の高い事業として位置付けられる。なお、対ウズベキスタン国別開発協力方針（2017年3月）では、重点分野3「社会セクターの再構築支援」として都市部と地方部との格差の拡大といった課題に対し、特に貧困層や社会的弱者が直接恩恵を受けられることを目指しつつ、地方部の主要産業である農業分野や保健医療を中心に支援を行うとしており、本計画はこの方針と合致する。

3. 計画概要

*協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容（詳細は協力準備調査にて確認）

ア) 施設、機材等の内容：MRI（磁気共鳴画像診断）装置、CT撮影装置、X線撮影装置等医療機材、手術シミュレーター等医学教育関連機材

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、調達機材の運営・維持管理に係る研修

② 期待される開発効果

対象医療機材による検査数の増加（CT検査回数：現在ゼロから2,000回／年へ）に伴い、NCDs等の疾患の早期発見・診断が推進されるとともに、対象病院での診断・治療体制の強化が図られる。また対象機材を用いた近代的な医療サービスに関する研修を受ける学生数が増加（現在ゼロから1,200人／年へ）し、地域医療を支える人材の輩出により、同地域住民の健康増進への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health：MOH）

④ 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認する。

⑤ 運営／維持管理体制：保健省・対象病院が運営・維持管理を担うことが想定されるが、協力準備調査で改めて人員配置計画及び医療機器の運転・維持管理計画を確認する。

(2) その他特記事項

- MRI、CTを含む画像診断機器、内視鏡を含む手術用機器等を中心に、本邦製品の活用が期待される。その際、医療機材に関する現地の代理店の状況・メンテナンス体制について確認を行い、適切な維持管理が行える機材を選定する。
- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 無償資金協力「人材育成奨学計画」の保健分野において同地域・対象病院からの留学生に対する応募勧奨を行い、人材育成を推進する。また一次レベル医療

施設における NCDs の予防・診断能力の向上を図る技術協力プロジェクト「非感染性疾患予防対策プロジェクト」の成果について、同地域にも共有する仕組みを検討する。

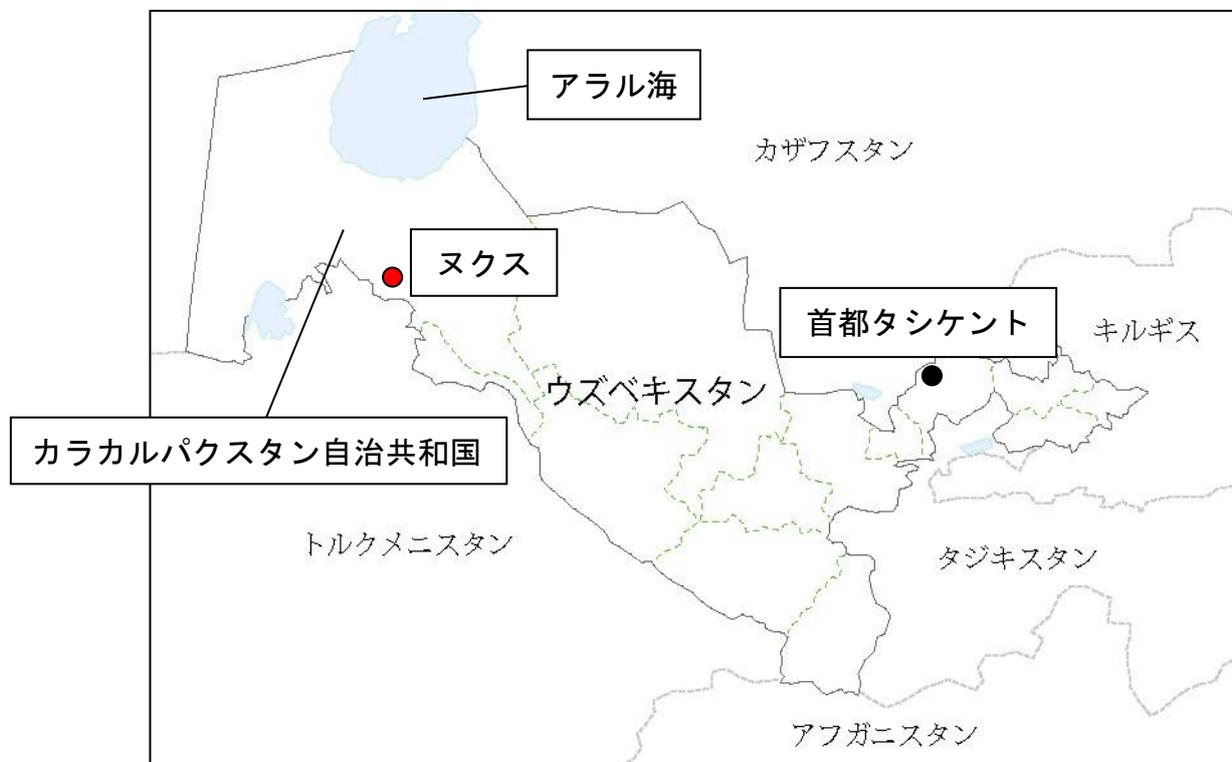
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

同国の無償資金協力「ナボイ州総合医療センター医療機材整備計画」（2015 年交換公文署名）の事後評価等では、同国における医療機材の維持管理体制（日常的メンテナンス、維持管理費用の予算化等）に課題がある点が指摘されている。そのため、本計画では、医療機材の維持管理についてソフトコンポーネントを通じて技術面・マネジメント面の研修を実施し、効果の定着を図る。また、機材の修理や部品交換などの対応を考慮し、現地における代理店の状況も確認の上、高度な医療機材については管球等の消耗品について保守契約を付帯することを検討する。

以 上

ヌクス教育病院医療サービス改善計画 地図

案件地図



出典：JICA

ヌクス教育病院周辺地図



出典：Open Street Map